

## 第17回日本遺伝子治療学会-理事会議事録

日 時：平成23年7月15日（金）08:00~09:00

場 所：九州大学医学部百年講堂 2階（第2会議室）

出席者：谷憲三朗会長

金田安史理事長、小澤敬也副理事長、

遠藤文夫、大橋十也、小野寺雅史、島田 隆、田川雅敏、田原秀晃、藤堂具紀、濱田洋文、

藤原俊義、森下竜一、吉田 純、米満吉和、新選挙理事：公文裕巳

監事：大津 真、三谷幸之介

欠席者：齊藤 泉、中畑龍俊（委任状有り）、水口裕之（新選挙理事-委任状有り）

※JSGT事務局本部：浅野茂隆事務局長、衛藤義勝副事務局長、新津洋司郎副理事長、事務部門：中野恵子

### （報告事項）

1. 第16回 JSGT 年次学術集会の報告
2. 収支報告（自・平成22年4月1日～至・平成23年3月31日まで）
  - ・第16期・平成22年度 JSGT 事務局収支報告（含・学会誌 JGM 誌-2010年度）  
（会員動態、収支の部、予算の部） 資料-1（含・年会費回収状況及び郵貯センター入金取扱集計）
  - ・第16回 JSGT 年次学術集会収支報告 資料-2（含・第1回～第16回年次学術集会-推移）、他参考資料  
上記報告がなされ承認された。
3. 新理事候補選挙経過について：6月11日に選挙管理委員長：谷憲三朗理事、  
選挙管理委員：大橋十也理事、小野寺雅史理事により開票が行われた。
4. JSGT 関係各賞についてそれらの趣旨等が説明された。
  - 1) JSGT 賞 1名
  - 2) JGM 賞 1名
  - 3) アンジェス賞 4名
  - 4) タカラバイオ賞 1名
  - 5) アンジェス・「トラベルグラント」1名
5. 関連学会及び関連事項の報告（JSGT-HP 周知事項及びその予定）
  - 1) 第9回遺伝子治療シンポジウム  
（2011年2月1日（火）13:00-18:10 於・千里阪急ホテル2階「樹林の間」）
  - 2) 「第1回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム」  
衛藤義勝先生開催（2011年1月26日 於・女性と仕事の未来館 東京）
  - 3) 「第10回遺伝子治療推進産学懇話会」公文裕巳先生開催  
（2011年6月17日 於・東京ステーションコンファレンス）
  - 4) 日本学術振興会：二国間交流事業セミナー『日米における遺伝子・細胞療法のトランスレーショナル  
リサーチの現状』（2011年7月14日、於・九州大学医学部百年講堂）
  - 5) 「臨床遺伝専門医制度の研修会」（認定単位数：8単位）認定継続
6. 「遺伝子治療臨床研究に関する指針（文部科学省/厚生労働省）見直し」の途中経過の報告（島田理事）
7. 第17回 JSGT 学術集会準備状況報告がなされた（谷会長）
  - ・会期：平成23年7月15日（金）～17日（日）
  - ・場所：於・九州大学医学部 百年講堂 ※〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
  - ・口演87題、ポスター27題、8シンポジウム、4特別講演、6共催セミナーを実施
8. 第18回 JSGT 学術集会準備状況報告がなされた（遠藤理事）
  - ・会期：2012年6月28（木）～30日（土）
  - ・場所：ホテル熊本テレサ
9. その他

### （審議事項）

1. 新理事選挙結果の承認：公文裕巳、田川雅敏、藤堂具紀、水口裕之、森下竜一、以上5評議員が理事候補として承認された。
2. 新理事長選挙：満場一致で金田安史理事が選出された。  
副理事長として、小澤敬也理事、谷憲三朗理事が推薦され、承認された。
3. 推薦理事について：次点であった三谷幸之介、那須保友、若林俊彦各評議員が理事候補として承認された。  
遠藤文夫第18回会長、藤原俊義第19回会長はオブザーバーとして今後の理事会等に出席することが承認された。
4. 新将来計画委員会の設置について：会則や JSGT の運営等について改革する必要性が理事から示され。これに対応するため新たな委員からなる将来計画委員会を設置し、検討に入ることになった。
5. 次次期会長の推薦、次次次期会長推薦（役員名簿）  
第20回会長に齋藤泉理事が推薦された。
6. 平成23年度会計監事の推薦：岡田尚巳、大橋十也各評議員

が推薦された。

7. JSGT 関係各賞

- ・第 16 回 JSGT 学会賞：増田茂夫
- ・第 11 回学会誌-JGM 賞：大津 真が推薦された。

遺伝子治療研究奨励賞(タカラバイオ賞)に

- ・第 2 回タカラバイオ賞：村松慎一が推薦された。

第 1 回アンジェス賞に

- ・房木ノエミ、上野修市、林宏樹、山口明子、各会員が推薦された。

第 1 回アンジェス・「トラベルグラント」に

- ・Wuh-Liang Hwu が推薦された。

8. 新評議員として

- ・青木一教、谷山義明、中神啓徳、福原 浩（計 4 名） が推薦された。

9. 利益相反に対する JSGT の方針：新将来計画委員会において議論して行くことにした。

10. その他：今後タカラバイオ賞においては 45 歳迄とすることに決定された。また臨時理事会を癌学会の期日中に行うこととした。

以上、JSGT 事務局